

議会だより ふだい



岩手県普代村議会

No. 141

平成29年11月7日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。



元気だったあ〜！
9月22日、村敬老会の「こま。「グループホームとりたい」で暮らす藤島ハル子さん（91）は、以前住んでいた堀内地区の皆さんとの久しぶりの再会を喜んでいました。

堀内中央道改良工事、子ども園通路舗装工事など可決ー9月定例会 2分〜

42億円の使い道を再チェックー28年度決算を認定 4分〜

林業振興、青の国ふだいの将来構想、副村長不在時の対応など 一般質問 8分〜

陳情1件を採択、発議案、臨時議会、議会の動きなど 11分〜

9月定例会

28年度の決算48億円を認定 堀内中央線の道路改良費を増



道路改良の増額が決まった村道堀内中央線（写真は旧屯所付近）

村議会第7回定例会（9月定例会）が9月13日から15日までの3日間開かれ、一般会計と2つの特別会計の補正予算、教育委員会委員の任命同意など6議案が審議され、全員賛成で可決・同意しました。また、平成28年度一般会計および各特別会計決算の認定は、決算特別委員会を立ち上げ集中審議。7会計とも全員賛成で認定しました。一般質問には3議員が登壇。林野行政や「青の国ふだい」の状況、副村長の不在について問題提起しました。今号では、補正予算などの内容、質疑、決算特別委員会の審議内容、一般質問、陳情、委員会リポート…などの内容でお届けします。

一般会計 補正予算

教育施設基金など 7880万円増額

▽一般会計補正予算（第3号）

平成29年度一般会計補正予算では歳入歳出に7880万3千円を増額し、歳入歳出予算の総額を30億5069万7千円とすることを決めました。

主な内容は、教育施設等整備基金積立金2000万円、河津桜のまちづくり創出事業388万8千円、子

ども園通路舗装工事200万円、村道補修工事920万円、村道堀内中央線道路改良工事2200万円などの増額です。

※国民健康保険・簡易水道の両特別会計の補正予算の内容は、7ページ「9月定例会で決まった議案」の表で説明しています。

質疑

河津桜を植える 4カ所はどこか

嵯峨議員

問 まち・ひと・しごと創生費「華のまち」のところで河津桜を植える4カ所はどこになるのか伺う。

答 役場周辺に40本、普代浜園地南側に20本、普代ダム周辺に60本、緑の村広場およびうねとり荘周辺に20本を植える計画である。

教育施設整備基金 小中一貫校新築か

金子議員

問 教育施設等整備基金積立金皆増とあるが、新しく校舎建設を考えているのか。それとも、今の中学校を増築して、小中一貫校として進めるのか伺う。

それと、積立金が今回2千万円だが、現在、積立金



建設から約40年が経つ普代中学校

はどれくらいになっていくのか。そして、建設時期はいつごろか。

桎屋村長

答 基本的に小中一貫校は、耐用年数を踏まえた中で一応新築を考えている。財政的な部分からあと

3、4年は掛かるものと思っている。場所はその組織、スケジュールなど教育委員会に

検討するよう話している。あと積立金の総額は1億円となる。

しかるべき時期にしっかりと議員方と相談をしたいと思っている。

三船教育長

答 小中一貫教育の研修なり、委員会を開催して来たるべき一貫校になった場合に、備えるための準備を着々と進めている。

テニスコートの 計画どうなった

中上議員

問 確か3月の予算特別委員会、「補正予算でもテニスコートは応急的にでも造っていく」というような話があったが、その計画はどうなったのか。また、関係者には説明をしているのか。

松葉教育次長

答 内部でいろいろ検討した結果、土のまま整備しても管理をどうするかという問題もあり、今、再検討している途中である。今年度は見送りさせていただきたいと考えている。

説明は、まだ内部での検討段階で、学校にも話をしていない。今後、管理も含めて学校と相談し検討したい。



河津桜が植樹される予定の普代ダム

ダムの観光地化 老朽化対策は

正路議員

問 普代ダム公園に河津桜を植え、20、30年後に観光地化ということであれば、ダムの老朽化は考えなければならぬ問題である。どのような対策をとっていくのか伺う。

道下政策推進室長

答 専門的なところで、ここで回答できる範ちゅうではないと思われる。今後研究を深めていく。

次の村づくりに生かすため

42億円の使い道を再チェック!!



前年度は台風被害の影響で中止となりましたが、本年度は県内外から約3000人が訪れ賑わった「海フェスタinふだい」(10月1日)

子育て支援・健康増進・漁業振興・税など 村政のさまざまな分野で活発な質疑

決算特別委員会(金子泰男委員長・委員8人)は9月13日から15日までの3日間開かれ、平成28年度の一般会計予算(前年度比2・91%増)と6特別会計(前年度比18・3%減)の総額42億8779万円(前年度比2・77%減)を審査しました。村政のさまざまな分野で活発な質疑が交わされた結果、全員賛成で原案のとおり認定しました。その中の質疑と答弁を抜粋してお知らせします。

育児祝い金 広く周知を

子育て支援

正路委員

問 児童福祉対策事業で育児祝い金の支払い方法は、また、広報などで取り上げPRし、広く意見、感想を聞きながらより良い制度にしていくべきと思うが、考えを伺う。

坂下住民福祉課長

答 祝い金は口座振り込みとなっている。祝い金がアップしたことは喜んでもらっている状況で、委員がおっしゃられたような方法

保健師の確保 条件緩和を

保健推進

中上委員

問 保健師の募集で「替代村に在住すること」という条件があるが、外せないのか。また、条件を付けていることに確固たる理由があるのか。

村に住んでもらうことも重要だが、優秀な人材を確保することの方が優先順位が高いと思う。年齢制限も上げるとか、確保に重点をおいた方がいいと思うが。

ごみの収集問題 施設も小さい

環境衛生

熊谷委員

問 ごみ収集の問題について分別、減量など非常に大事だが、簡単に考えている

人間ドック助成金 広く村民を対象に

健康増進

中上委員

問 人間ドック受診助成金

のではないかと。ごみハウスについても、分別の種類が増えている中であるのか。小さい施設でいいのか。

坂下住民福祉課長

答 とまどき、地区から分別が悪く運ばれていないごみがあると電話もいただいている。機会があることに分別・減量など、資源ごみの周知をしていきたい。

11万5千円は農協でなければだめなのか。助成はごく一部の人と思うが、村民の健康維持、病気の早期発見、医療費の抑制からも、もっと広く村民に助成できるようなかたちにするべきと思うがどうか。

坂下住民福祉課長

答 農協の集団での検診に1人5千円の補助を出している。28年度は23人が助成を受けている。久慈市などでは予算の範囲内で個人にも補助は出しているようだ。来年度以降になるが、予算査定の際に検討したい。

平成28年度の決算を認定(一般会計の決算は35億2761万8千円)



ふだいまつり
スナップ集



全員起立で28年度決算は認定されました

すき昆布乾燥
効率化結果は

漁業振興

嵯峨委員

問 すき昆布の乾燥効率化による漁業経済の安定化を図るための調査結果について、どういう結果が出たのか。また、その結果を漁家に周知したのか伺う。

答 太田建設水産課長

セイロなどの場所の関係、風の吹き出しなどの関係で棚のローテーションなどをどのようにしたら効果的な乾燥結果がでるか調査した。結果は出てこないが、来年度以降に再度、対応していきたい。

収入未済額は
何名分なのか

税の滞納改善

野場委員

問 国保特別会計の収入未済額の医療費分254万4337円、そのほか後期高齢、介護保険分もあるわけだが、この未納は何名分なのか。

横田税務出納課長
答 現年度分での未納は33名になる。

税の滞納に対し
対策は講じたか

税の滞納改善

大上委員
問 国保特別会計の収入未済額の残高が約1700万円だが、これを減にするため、各課が連携して何かペナルティを考えたのか、何かアクションを起こしたのか。

また28年度分の未納額はいくら増えたのか、併せて聞く。

横田税務出納課長
答 分納誓約の強化、各種調査、各種差し押さえなどをし収納に努めてきた。また28年度分の滞納額は、27年度分に対して150万円ほど増えている。28年度は、貯金差し押さえ、給与差し押さえなどを実施し、滞納の減に取り組んでいる。

監査意見

松葉明人 監査委員
大上浩史 監査委員

平成28年度は普代浜園地整備事業などの震災復興事業が行われたほか、学校給食センターの建設、道路改良工事、地域活動拠点整備事業（鳥居地区公民館の建築）、台風10号災害復旧工事などが行われ、歳出は前年度に比べ1億2208万7千円（2・77%）の減となっている。

一般会計と6つの特別会計全会計総額の実質収支は1億6952万3千円で黒字となっている。基金の残高も17億6015万円となっている。



監査報告をする松葉代表監査

効果的な行政運営を

村税合計の徴収率は、94・49%で、前年度比0・24ポイント上回っている。自主財源となる税収の確保や公平性という見地からも、徴収体制の強化を図り、「岩手県地方税特別滞納整理機構」とも連携を密にし、さらなる徴収体制の強化を望む。特別会計は、それぞれ独立採算の原則に立ち、歳入の増収と経費節減などに意を配し、一層の努力を期待する。

今後も村民の行政に対する期待は大きく、財政需要はさらに増大するものと思われる。事務事業の執行に当たっては、優先度、緊急度を十分考慮し、最小の経費で最大の効果が得られるよう一層効果的な行政運営に努められたい。

人事

教育委員会委員
佐々木さんを再任



任期満了に伴い、上区の佐々木康雄さん（68）を教育委員会委員に任命することを全員賛成で同意しました。任期は平成33年9月30

人権擁護委員に
和村さん推薦同意



人権擁護委員候補者の中に中央区の和村淑子さん（69）を推薦することに同意し、和村村長に答申しました。和村さんは、現在7期21年目で12月31日までが任期です。

日までの4年間でです。

9月定例会で決まった議案等

議案番号等	議案	審議結果
議案第1号	平成29年度普代村一般会計補正予算（第3号） 補正額7880万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ30億5069万7千円にしました。歳出では、小中一貫校建設に伴う教育施設等整備積立金2000万円、華のまち・普代村（河津桜のまちづくり）創出事業388万8千円を増額。また、子ども園通路舗装工事200万円、自然休養村管理センター修繕料90万8千円を増額、土木費では、村道補修工事に920万円、村道堀内中央線道路改良工事に2200万円などを増額。	可決 (全員賛成)
議案第2号	平成29年度普代村国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 補正額35万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億6935万5千円にしました。国民健康保険の県への移行のための電算共同処理委託料15万8千円、前年度の実績による償還金19万7千円を増額するもの。	可決 (全員賛成)
議案第3号	平成29年度普代村簡易水道特別会計補正予算（第2号） 補正額65万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億3614万4千円にしました。普代駅舎の改修に伴う水道の修繕110万円が主なもの。	可決 (全員賛成)
議案第4号	普代村教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて 任期満了に伴い、佐々木康雄現教育委員会委員の再任に関し同意を求めるもの。	同意 (全員賛成)
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦に対する意見の答申について 人権擁護委員候補者・和村淑子氏の推薦について、議会に意見を求めるもの。	適任
報告第1号	平成28年度普代村の財政の健全化判断比率及び資金不足比率について	
認定第1号	平成28年度普代村一般会計並びに各特別会計決算の認定について	認定 (全員賛成)
発議案第1号	「全国森林環境税の創設に関する意見書」の提出について 森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るための「全国森林環境税」の早期導入を、国に要望するもの。	可決 (全員賛成)

次のページから

「一般質問」

村の課題を熱く議論!

9月定例会の一般質問には、正路正敏議員、野場義時議員、中上一登議員の3人が登壇しました。

一般質問は、本会議で議員が執行機関である村長などに対し、村政全般に関する、事務の執行状況、村政の方針などについて質問し、報告または説明を求めるものです。

村議会の一般質問は「一問一答方式」で行っており、1人60分の制限時間内で質問・答弁を繰り返します。

質問者と内容



【1番目】
しょうじ まさとし
正路 正敏 議員

8p

- ①村所有林の売却、民有林の伐採後の対応などは
- ②児童生徒の登下校の安全確保策問う



【2番目】
のぼ よしとき
野場 義時 議員

9p

- ①株式会社「青の国ふだい」の状況と、普代駅舎改修後の構想聞く



【3番目】
なかがみ かずと
中上 一登 議員

10p

- ①副村長不在の体制問う



野場義時

地方創生

「青の国ふだい」の将来構想示せ

駅改修で集客アップ図り、黒字見込む 榎屋村長

答弁 榎屋村長 設立から半年で会社としての業務推進の諸準備が整い、対外的にも会社が認知されつつあると思っています。経営面では、現在仮設店舗での営業で、売り上げなど厳しい状況である。販売の足固めや戦略展開などは、改築後観光センターに入り本格的に取り組みたい。

ただ、販路開拓は、県内のホテルや道の駅など新規

質問 第三セクター「観光株式会社青の国ふだい」の今の状況はどうか。また、駅舎改修後の構想、何を強みとして村をPRし、販売していくのか。

さらに、農林水産業をどのように組み合わせ、産業・企業を集積し、それに携わる人材育成をどのように考えているのか。

新規取引先16社 駅改築後に本格化



内装工事が行われている普代駅舎(10月31日)

取引先16社を含め、拡大しており、インターネット販売の導入や地元産のアカモク、トビウオを活用した商品づくりも進めている。時間はかかるが、今後の販売増に期待している。

今般の改修で施設のフラット化、売り場や展示・交流そして産直スペースなどが充実でき、集客力、販売力、発進力もアップできると考えている。

村の強みはトレイル、ジオ、御神楽、海産物などで、

質問 今期の売り上げは、もし赤字の場合は

答弁 榎屋村長 受託部門などを含め、出資金に関係なく、580万

初年度は赤字だが以後は黒字見込む

工次第で売れ筋も多くある。また、株主の産業4団体と岩手銀行さんに既に諸々のノウハウや器具・機材、原料などを提供いただき、連携・協力が密になり、会社設立の効果があつたと考える。

すぐにとはいかないが、人材の導入、育成を強化できる環境が整いつつあり、成果を出せるように取り組む。

今期の売り上げは、もし赤字の場合は

答弁 榎屋村長 初年度は黒字を見込んで、数十万円の黒字を想定している。くろさき荘の委託は、村全体の観光振興などの中で判断したい。

質問 会社の運営状況はどうか。村民の注目度は、人口減少の抑え、生産力の向上、雇用促進の拡大、普代村の地域力アップにつながるよう頑張りたい。

答弁 榎屋村長 運営状況は、取締役の方々と相談して報告する考えである。

林業振興

村所有の立木販売を植林の働きかけを

適期のものは販売、植林する 榎屋村長



正路正敏



山林の適正な管理が必要とされます

質問 村所有の山林がどのくらいあり、伐採適期にある立木の随時売却の考えはあるのか。

個人所有の山林の伐採後について、国、県、村の補助もあり植林など積極的な働きかけも必要と思うがどうか。

また、松くい虫・なら枯れが急速に北上している。その対策はどうするのか。

答弁 榎屋村長 村所有の山林は合計で246町歩、内訳は、その他広葉樹が140町歩、針葉樹が106町歩となる。広葉樹は特に、シタケ原木に活用できる山林で適期にあるものは、売却、伐採、植林に、順次取り組みを進める。

今後、池名から和野山方面準備のため、作業道の補修費用を計上しており、広葉樹の植林部分30町歩、天然林10町歩程度可能とみられ、複数年かけ売却へと進めたい。

民有林での植林の推進について0.1ha以上の植林に、国、県併せて最大で68%の補助制度、広葉樹であれば村単独の1割補助も加え活用でき、その周知などを行う。

また松くい虫被害が



宇留部防潮堤水門付近の通学路

交通安全

通学路の危険 安全対策示せ

質問 総務常任委員会にて世代のお母さん方との広聴会」でお話を伺った。活発なご意見、ご議論を聞いた。

大船渡市まで、なら枯れ被害が宮古市まで北上。県では巡回を徹底し、村でも発見した際は担当課に連絡することとし、早期発見、早期駆除など、監視体制を強化する。

危険箇所の策講じ 安全確保に努める

答弁 三船教育長 具体的な対策として、通学路安全推進会議を設置し、平成27年6月「普代村通学路交通安全プログラム」を策定。旧消防分署前からのカラー舗装も、会議で検討され昨年実施した。横町から旭日区に通じるT字路も出会い頭の危険があることから、カーブミラーと歩道代わりとなる通路帯を整備、水門付近も路側帯を整備し、歩道分を確保し、車両の減速を促す対策を講じている。

可能な限り、危険箇所排除の策を講じ、通学路の安全確保に努める。

「一般質問」市政を問う



中上一登

村政運営

今後の副村長は？

状況を参酌して検討続ける

梶屋村長

総務課長が代理 災害時は教育長

質問 副村長不在について以下の3点を伺う。①村長不在時の職務代行者は誰か②組織体制変更はあるか③新たな選任の考えは。

答弁 梶屋村長 ①地方自治法の規定に基づき、総務課長、税務出納課長、建設水産課長、住民福祉課長の順で代理する。災害時には、対策副本部長が2人であったが、教育長1人となる。

②現組織体制を維持する。③県内町村の就任状況を参酌して検討を続ける。

質問 人口減少によるもろもろの課題が山積している中で途中辞任は、トップ同士の村政への認識のズレがあったということではないのか。

答弁 梶屋村長 副村長さんとの間での課題などの共有はしっかりとしていた。副村長さんが今



空席となっている議場の副村長席

長級に話していたので職員も頑張るつもりでいる。市町村で副市町村長を置かないところもある。

県などからの派遣も多くなっているのが、村民の福祉の向上が図られる人材をと今一生懸命考えている。

質問 副村長がい

ないところは最初からそれなりの体制を作っている。当時の状況とは違う。規定によつて総務課長などが副村長を代理するという話であったが、村民にも議会にも周知はされていない。その用意はなかったのか。

答弁 梶屋村長 副村長が欠けたことによつて、誰がどこを代理するなどの広報をすることは、現時点では予定していなかったところである。

質問 もう一度確認するが、次の副村長はどのように村長の方針の中で考えているのか、構想を。

答弁 梶屋村長 前副村長さんのような信頼がある方で、行政にも精通している方が受けてもらえるか心配である。県内の状況なども参酌して検討していく。

質問 副村長不在により

どうなるなど、住民不安払拭のためにも村民、議会にもっと伝えてもらいたい。

答弁 梶屋村長 事前に議会との全員協議会でも話している。8月の臨時議会の際にも、異例ではあるが副村長退任について、今後の考えについての行政報告もさせていただいた。もつと細部の部分が不足という事なので、今後心掛ける。

100万人最後の1人まで情報をこまごまとというふうなことで限界はあるが、そういった部分で可能な取り組みについては、まだまだ不足してはいるからと、いうふうなことですのでしっかりと取り組むよう努めていく。

皆さんからの

請願・陳情

陳情2件を審査・1件を採択

9月定例会に提出された陳情は2件でした。総務常任委員会（金子泰男委員長）、産業経済常任委員会（野場義時委員長）で審査した結果、1件は採択、もう1件は継続審査とすることに決定。本会議でも全員賛成し、発議案として国に意見書を提出しました。

森林環境税 早期導入を

陳情人 全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳

陳情の内容 全国森林環境税の創設に関する意見書採択に関する

陳情 地球温暖化対策が国際的に約束されている中、森林吸収源対策が不可欠とされている。山村地域の市町村では、林業従事者の高齢化・後継者不足など、厳し



森と人との共存が求められています

い情勢にあるほか、市町村が、森林政策、山村対策に取り組み安定的な財源が大幅に不足している。

政府は国民に等しく負担を求める森林環境税(仮称)の創設の方針を示し、山村地域の市町村の森林吸収源対策の推進や、安定した雇用の場の確保などに取り組み

止、国土保全や地方創生などにつながることから、森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るための「全国森林環境税」の早期導入を国に要望するもの。

採択の理由 審査では、県の「森づくり県民税」との関連もあるが、地球温暖化対策、森林

私学への助成 増額・充実を

陳情人 私学助成をすすめる岩手の会 会長 土屋直人

陳情の内容 私学教育を充実・発展させるための陳情

現在、私立学校の経営基盤は、厳しい環境にあり保護者の学費負担は家計を大きく圧迫している。また、生徒一人当りにかけられる教育費が公立学校と比べて低い状況にある。

の保全などから、本陳情の主旨は妥当であると全会一致で「採択」とした。

このことから、私学助成について、過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金をさらに充実することを求めるもの。

継続審査の理由 審査では、私学教育の充実、公立高校との関連、私立高校が設置されている市などのこともあり、さらに調査が必要とのことから、本陳情の主旨は「継続審査」が妥当であるとした。

議員発議

全国森林環境税の創設に関する意見書を国に提出

9月定例会で「全国森林環境税の創設に関する意見書」が、議員発議で提案され、これを可決。国に対し意見書を送付しました。

内容は、上記陳情のとおり、山村地域の森林政策の推進、後継者確保、雇用対策、山村対策の強化を図るため、国民に等しく負担を求める「全国森林環境税」の早期導入を要望するものです。

- 提出先…内閣総理大臣 総務大臣 農林水産大臣 環境大臣 産業大臣 衆議院議長 参議院議長

可決

こんなことが、決まりました

第5回臨時議会

村議会第5回臨時議会は、7月19日開会、同日閉会しました。審議した案件は福祉バス購入にかかる財産取得で、全員賛成で原案可決しました。内容は次のとおりです。

2100万円で福祉バスを更新

▽財産の取得に関し議決を求めることについて

▽取得目的：福祉バスの更新(中型・35人乗り)▽取得価格：2149万2千円▽取得先：盛岡いすゞモーター株式会社久慈営業所

第6回臨時議会

村議会第6回臨時議会は、8月4日開会、同日閉

会しました。案件は、休養施設事業特別会計補正予算と、村道普代平井賀線(羅賀橋)橋梁災害復旧工事の請負契約の締結2件。審議の結果、全員賛成で原案可決しました。内容は次のとおりです。

「くろさき荘」の空調設備を修繕

▽休養施設事業特別会計補正予算(第1号)

補正額270万円を増額し、総額で1億1950万円としました。内容は、くろさき荘の大広間の空調設備修繕工事270万円です。

約1億6千万円で羅賀橋の工事契約

▽村道普代平井賀線(羅賀橋)橋梁災害復旧工事の請負契約の締結

減による中学校の部活動の問題、小中一貫校の構想などを聞きました。

お母さん方からは、「小さい子どもたちが安心して遊べる場所がほしい」「兄弟が多いと通学費もかかる。三陸鉄道で通学する生徒に何割かでも助成があればいい」「村の子育て支援は充実している」などの意見が出されました。

部活動に関しては「運動も音楽も苦手な子どもでも、何らかの部活に入るので、嫌なことをやらなければならなくなるのが心配」という声がありました。

小中一貫校については「今の場所は危険。また災害があれば怖い。できれば高台、利便性の良い場所に」という一方で、「子どもが少なくなる中、お金をかけるのもどうか」という意見が出され、有意義な広聴会となりました。



子育て世代のお母さん方と意見交換する委員(役場)

子育て世代に理解深める

総務常任委員会

総務常任委員会の調査には、金子泰男委員長ほか、中上一登副委員長、正路正敏委員、森田幸一委員の4人が参加。子育て世代のお母さん方11人から、子育てをする上で不便に感じるところ、生徒数

総務常任委員会(金子泰男委員長、委員4人)は8月28日に、産業経済常任委員会(野場義時委員長、委員4人)は9月21日に、それぞれ所管事務の調査を行いました。総務常任委員会は、子育て世代のお母さん方から、村の子育て支援策の評価や施策の充実度などを調査。また産業経済常任委員会では、田老漁協のアワビ種苗生産施設を視察し増殖状況などを調査しました。

委員会レポート

アワビ種苗施設を視察

産業経済常任委員会

産業経済常任委員会は野場義時委員長ほか、嵯峨典行副委員長、大上浩史委員、熊谷有耕委員の4人が参加。同委員会で、村の地方創生事業で、アワビの蓄養実験を行っていることから、その事業に関連性のあ



摂待地区にある田老漁協のアワビ種苗生産施設

る宮古市田老町の田老漁協アワビ種苗生産施設を視察しました。同漁協の小林昭榮代表理事組合長は、「昭和56年稚貝を買い、中間育成し放流したことが始まりで、現在の施設を平成5年に5億円かけ整備。津波で全壊し復旧に11億円かけた。毎年120万個の稚貝を作り放流し、4年目から採る。29年間で2480万個放流し、約160万個採れた」と説明。島山昌彦指導増殖課長は、「投資効果はあるもののアワビの成長に適した温度や水質管理など、多くの課題もある」と難しさを口にしていました。同漁協の組合員は450人。小林組合長は「昭和の初め田老では90トものアワビが採れたが震災後は20トまで減。田老の資源はアワビであり漁業者の生活を守ってきた。安定した稚貝を放流し、毎年50ト揚げたい」と語っていました。

沢山橋の工事で、車両や通行の規制をより最小限にしながら施工をするための工事費を増額するもので

▽工事名：村道普代駅前1号線(沢山橋)道路改良工事▽場所：羅賀・中村・普代地内▽契約額：6178万2480円▽請負者：宮城建設株式会社

その他の議案

▽普代村観光センター設置及び管理に関する条例の一部改正：普代駅舎の観光センター増設工事に伴い、新たな貸店舗の使用料(観光センター新築分)、面積113・46㎡を月額4万5190円にしました。

▽休養施設事業特別会計補正予算(第2号)：補正額237万9千円を増額し、総額で1億2187万9千円としました。内容はくろさき荘大浴場の給湯設備の修繕42万2千円、消費税納付金195万7千円です。

第8回臨時議会

▽工事名：28災732号村道普代平井賀線(羅賀橋)橋梁災害復旧工事▽場所：普代地内▽契約額：1億6524万円▽請負者：株式会社小山組

村議会第8回臨時議会は、9月29日開会、同日閉会しました。審議した案件は、一般会計補正予算、同休養施設事業特別会計補正予算など5議案。全員賛成で原案可決しました。内容は次のとおりです。

太田名部公民館新築工事の請負

▽太田名部地域活動拠点施設建築工事の請負契約の締結

太田名部地域活動拠点施設(地区公民館)を旧太田名部児童館跡地に新築しま

す。約57坪の木造平屋建てで、冷暖房施設、ガス発電機が備え付けられます。▽工事名：太田名部地域活動拠点施設建築工事▽場所：太田名部地内▽契約額：7408万8千円▽請負者：日向建築

駅観光センターの開所記念予算を増

▽一般会計補正予算(第4号)

補正額1714万6千円を増額し、総額で30億6784万3千円としました。歳出では、衆議院議員選挙費452万円を増額したほか、普代駅観光センターの開所記念事業100万円、南浜住宅建替工事890万円、9月の大雨で土砂崩れのあった村道南白井港線の応急復旧工事費100万円などを増額しました。

村道駅前1号線変更請負契約

▽村道駅前1号線(沢山橋)道路改良工事の変更請負契約の締結

事務局
日誌から

議会の動き

7月8日～10月6日

月日	場所	事項	出席者
7月 8日	久慈市	小野寺敬作氏新岩手農業協同組合代表理事組合長就任祝賀会	議長
16日	普代浜園地	普代浜園地キラウミ安全祈願	議長
19日	役場	議会運営委員会、村議会第5回臨時会、議会全員協議会、議会広報常任委員会、産業経済常任委員会	各委員・各議員
	久慈市	久慈自動車学校お取引先様懇親会	議長
20日	盛岡市	地方創生推進勉強会	中上議員
24日	久慈市	久慈広域連合議員全員協議会	大上・野場議員
	久慈市	第9回久慈広域連合議会臨時会	大上・野場議員
25日	久慈市	久慈広域連合例月出納検査	大上議員
26～27日	盛岡市	第49回町村議会夏季議員大学講座	嵯峨・中上・正路・金子議員
27日	役場	第1回ふだいまつり実行委員会	正副議長
28日	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合議会臨時会	熊谷議員
31日	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査	熊谷議員
	英霊塔前	戦没者追悼式	各議員
8月 4日	役場	議会運営委員会、村議会第6回臨時会、総務常任委員会、産業経済常任委員会	各委員・各議員
8日	久慈市	久慈地区市町村議会連絡協議会定例総会	正副議長
22日	久慈市	久慈広域連合例月出納検査	大上議員
23日	役場ほか	市町村からの要望	各議員
	役場	総務常任委員会	各委員
25日	盛岡市	第55回知事を囲む懇談会	議長
28日	役場	総務常任委員会	各委員
29日	役場	自由民主党岩手県支部連合会に係る「市町村重点要望調査」	金子総務常任委員長
	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査	熊谷議員
	東京都	重点要望に関する中央実行運動	議長
30～31日	東京都	中央研修会並びに岩手県選出国議員との懇談会	正副議長
9月1～3日	村内	ふだいまつり	各議員
7日	役場	議会運営委員会	各委員
8日	矢巾町	総務常任委員会（行政視察）	各委員
9日	うねとり荘	ふれあい敬老会	議長
13～15日	役場	村議会第7回定例会	各議員
21日	田老漁協	産業経済常任委員会（行政視察）	各委員
22日	社会体育館	普代村敬老会	各議員
	盛岡市	矢巾の恵みを味わう夕べ普代の海の幸とともに	議長
24日	村内	普代村防災訓練	各議員
26日	久慈市	久慈広域連合例月出納検査	大上議員
	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査	熊谷議員
29日	役場	議会運営委員会、村議会第8回臨時会、議会全員協議会、議会広報常任委員会	各委員・各議員
10月 1日	太田名部漁港	海フェスタ in ふだい 2017	各議員
3～5日	北海道福島町ほか	産業経済常任委員会（行政視察）	嵯峨・大上・野場・熊谷議員
4日	盛岡市	第2回政務調査会、第3回定例理事会	議長
6日	盛岡市	第6回委員長研修会	中上・正路・金子・野場議員



議場以外の議会活動



市町村要望が8月23日、役場などで行われ、村とともに県に6項目を要望しました。
 ①岩泉平井賀線普代線の改良促進 ②三陸沿岸道路普代インターチェンジ付近の県道の改良工事 ③県道普代小屋瀬線の改良 ④普代川河口の整備 ⑤台風10号による災害復旧 ⑥普代水門・太田名部防潮堤の長寿命化対策



県町村議会議長会主催の委員長研修が10月6日開かれ、県内から議員ら約80人が参加。山梨学院大学法学部教授の江藤俊昭氏が「議会運営における委員会・委員長の役割」と題して講演しました。



9月22日、社会体育館で敬老会が行われました。村内各地区から約177人が参加。議員も出席し、皆さんの健康と長寿を祝いました。



村の一大イベント「海フェスタ in ふだい」が10月1日、太田名部漁港で行われました。村内外から村の人口を超える約3000人が来場。議会では、来賓コーナーを受け持ち、イカやホタテ、マンボウの串焼き、タコの刺身などを振る舞いました。

教えて議会のこと！ 議会における委員会の役割

今号の「議会だよりふだい」では、4ページで決算特別委員会、13ページでは委員会リポートとして「総務常任委員会」「産業経済常任委員会」などの文言が出てきました。
 まず、委員会ですが、これは議会の内部組織として、本会議における審議の予備的審査、調査機関として設置されています。普代村議会では、議会運営委員会、総務常任委員会、産業経済常任委員会、議

会広報常任委員会が設置され、特別委員会としては、予算・決算審査特別委員会が設置されています。
 議員は、「少なくとも一つの常任委員となる」と条例で決まっています。誰がどの委員会になるかは、任期のはじめに決めます。
 委員会の内容ですが、総務常任委員会は、総務的なものや教育に関する事務の調査や議案、請願・陳情等の審査。産業経済常任委員会は、産業経済、土木に関する事務の調査や議案、請願、陳情などの審査。議会広報常任委員会は、議会広報と議会だよりの編集・発行をします。
 常任委員の任期は2年です。

お知らせ

本号または過去の「ふだい議会だより」は、村ホームページ (<http://www.vill.fudai.iwate.jp/>) から見ることができます。トップページの行政情報をクリックし、次のページの右下にある「議会だより」をクリックしてください。ぜひ、この機会にウェブサイトもご覧ください。

V O I C E
未来予想図 Fudai

自然が豊かな普代!

おおた かいと
太田 海斗さん(普代小6年)

10月25日に森づくり大会に参加して、コナラを植えました。土を掘るのが大変だったけど、10本以上植えることができ、よかったです。よい体験ができました。

普代のよいところは、自然が豊かで人が優しいところです。父さんは漁師をしているので、海のおいしいものも食べられます。今はショッコ(カンパチの幼魚)の刺身がおいしいです。

ぼくが大人になっても、ずっと豊かな山や海、自然が残っている村でいてほしいです😊

普代ってなんかいい!

さわぐち あみ
澤口 亜海さん(普代小6年)

普代の好きなところは、近所の人、スクールガードの人とか、みんな優しいところです。歩いていると、よくみんなに「元気!」とか声を掛けられます。

私は普代のことをあんまり考えたことがないけど、普代ってなんかいいんです! 雰囲気がいいんです! だから私は、ずっと普代にいたいんです。まだ、分からないけど、将来は、お母さんみたいな介護福祉士の仕事をしたいと思っています😊

お知らせ

議会にお出でください。



9月定例会を傍聴する皆さん

傍聴者の感想!

「青の国ふだい」のことや副村長の辞任のことなど、私たちの関心のあることが一般質問として出て、村長さんや議員さん、それぞれの考えを聞くことができよかったです。非常に興味があったことを聞かせていただいて、議会に対して親近感が持てるようになりました。

村議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議会議場で開かれます。議員は議場でどんな発言をしているのか、また、どんな村づくりを考えているのか、今後の村の方向性を直接聞くことができるよい機会です。ぜひ、お越しください。

また、役場1階にある村民ホールテレビでも議会中継を見ることができますので、お気軽にどうぞ。

9月定例会の議場での傍聴者は13人でした。

次回は12月中旬を予定

お待ちしております!!

問=議会事務局 (☎35-2118)

議会広報常任委員会
委員長 森田 幸一
副委員長 正路 正一
委員 中上 登
委員 嵯峨 典行

▼今年もあつという間に11月を迎えて、朝晩の気温が10度を下回るようになりました。秋から冬へと季節は移っています。寒さにはしっかり備えて風邪をひかないように、そして、今号の議会だよりの表紙写真や議会の動きの写真のように、皆さん、笑顔でお過ごしください。
(森田幸一)

▼今回の議会だより編集を終えて感じたのは、今後結果を出していかなければならない事業が山積しているということ。小中一貫校建設、職員人材確保、駅舎改修効果、普代ダム観光地化計画、「楸青の国ふだい」の運営効果。それに加え、人口減、農漁業の振興と大きな問題はかりです。「結果が出なくても、事業さえやれば役所は実績になる」と思っている」という住民の声を思い出しました。結果オーライになることを祈ります。
(中上登)

あ
と
が
き

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの感想をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

